すべてのアスベスト被害者の救済を！

アスベスト訴訟勝利埼玉集会

6月12日(金)

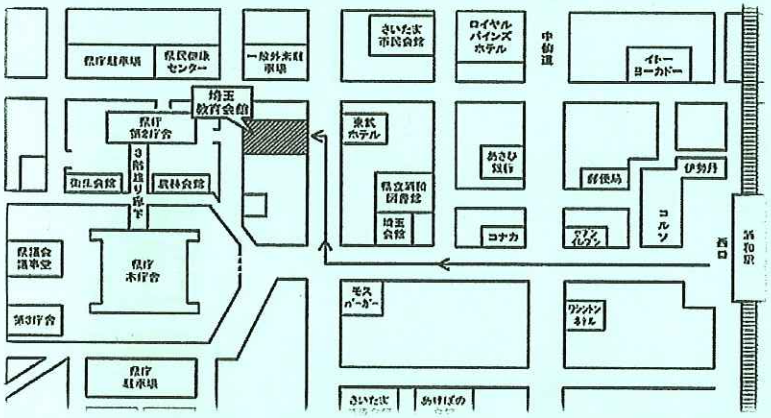
午後6時30分～

埼玉教育会館2階

日本においてアスベストは、２００６年の全面禁止措置が取られるまで、１０００万トンも輸入されており、その大半が建設資材として加工されました。あなたの身近にもアスベストが存在するかもしれません。私たちはアスベストの根絶を求めています。

アスベスト対策埼玉連絡センターでは、さいたま地裁に提訴している曙ブレーキの元従業員とその遺族の損害賠償訴訟と教員アスベスト公務災害訴訟の勝利・と東京地裁・東京高裁で闘っている、首都圏建設アスベスト訴訟の支援を行っています。

それぞれの訴訟勝利をめざす埼玉集会を行います。訴訟勝利へ向けて多くの皆さんの参加をお願いします。



アスベスト対策埼玉連絡センター

さいたま市浦和区高砂 3-10-11

第１木村ビル２階　　埼労連内

電話０４８－８３８－０７７１

曙ブレーキ損害賠償訴訟

曙ブレーキの工場で働いていた労働者と遺族が、曙ブレーキの工場でアスベストに被爆し、損害賠償を求める裁判です。原告は 14 人です。

教員アスベスト公務災害訴訟

戸田市の喜沢小学校で教師をしていた四條昇さんが、中皮腫で亡くなり、遺族が公務災害を求めている裁判です。

首都圏建設アスベスト訴訟

建設現場で働いていた労働者などがアスベスト含有建材に被爆し、国と建材メーカーを相手に闘っている裁判です。首都圏で約 500 人の原告が闘っています。